

「令和6年度安全管理研修

～教育・保育施設等における子ども虐待の防止対策研修～」

「子どもの虐待とは・・・

今、保育現場で何が起きているのか」

社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

青木 幸子

今の時代の子育ての難しさ 「今、ここから」チャレンジ！

ネットで答えは見つからない！

スマホで何でもすぐに調べることができるけど、情報が多すぎて、他の家の**子育て**と自分の**子育て**を比べてしまいそれにとらわれてしまう。何がよいのかわからなくなる

完璧を求める！

周りのママはおしゃれで、優しくて、余裕もあって、怒鳴ったりしない。いつも怒鳴っているのは私だけ。完璧な**子育て**なんてないよと思っても思うようにいかない。「パートナー協力的でいいね」と言われても当のパートナーは「何か手伝うことある？」のスタンスで自分でやってしまう方が早い

孤立 こんなはずじゃなかった！

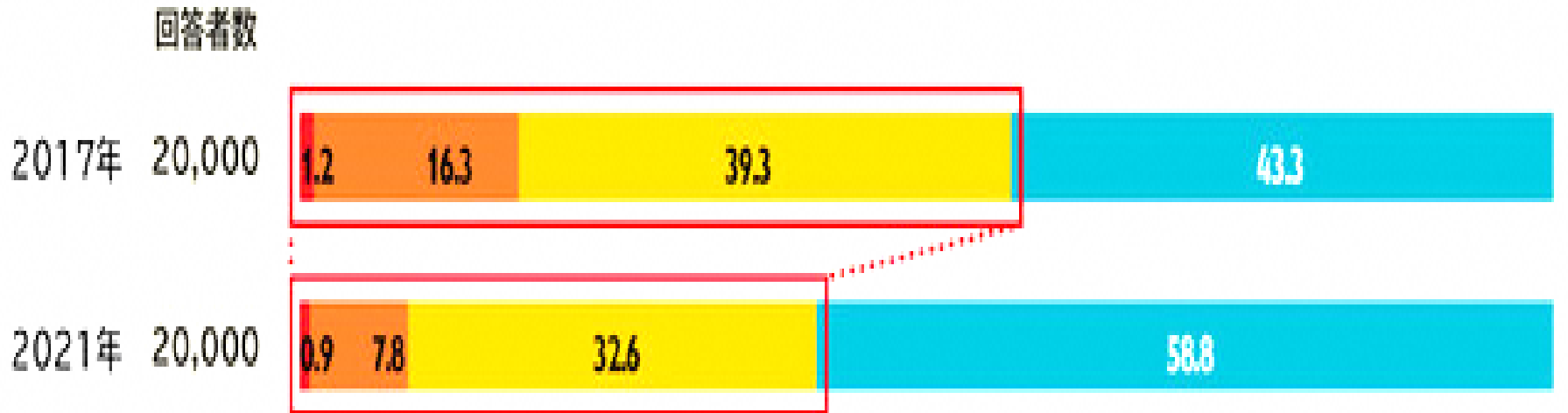
たまに会う義親は「まだオムツ取れないの？」「じっとしていない動く子だね」「見切れないわ」など言われてしまうと自分が責められていると感じて落ち込む。こんなに頑張っているのに子どもはちっとも言うことを聞いてくれない。その上に仕事も家事も加わってほんと！疲れる

しつけのために、子どもに体罰をすることに対して、 約6割が肯定（2018年時点）が4割へ減少

子どもの権利が守られる体罰のない社会へ
法定化され2020年4月から施行

Q. しつけのために、子どもに体罰をすることに対してどのように考えますか
【2017年と2021年の単一回答の比較】

■ 積極的にすべきである ■ 必要に応じてすべきである ■ 他に手段がないと思った時のみすべきである ■ 決してすべきではない

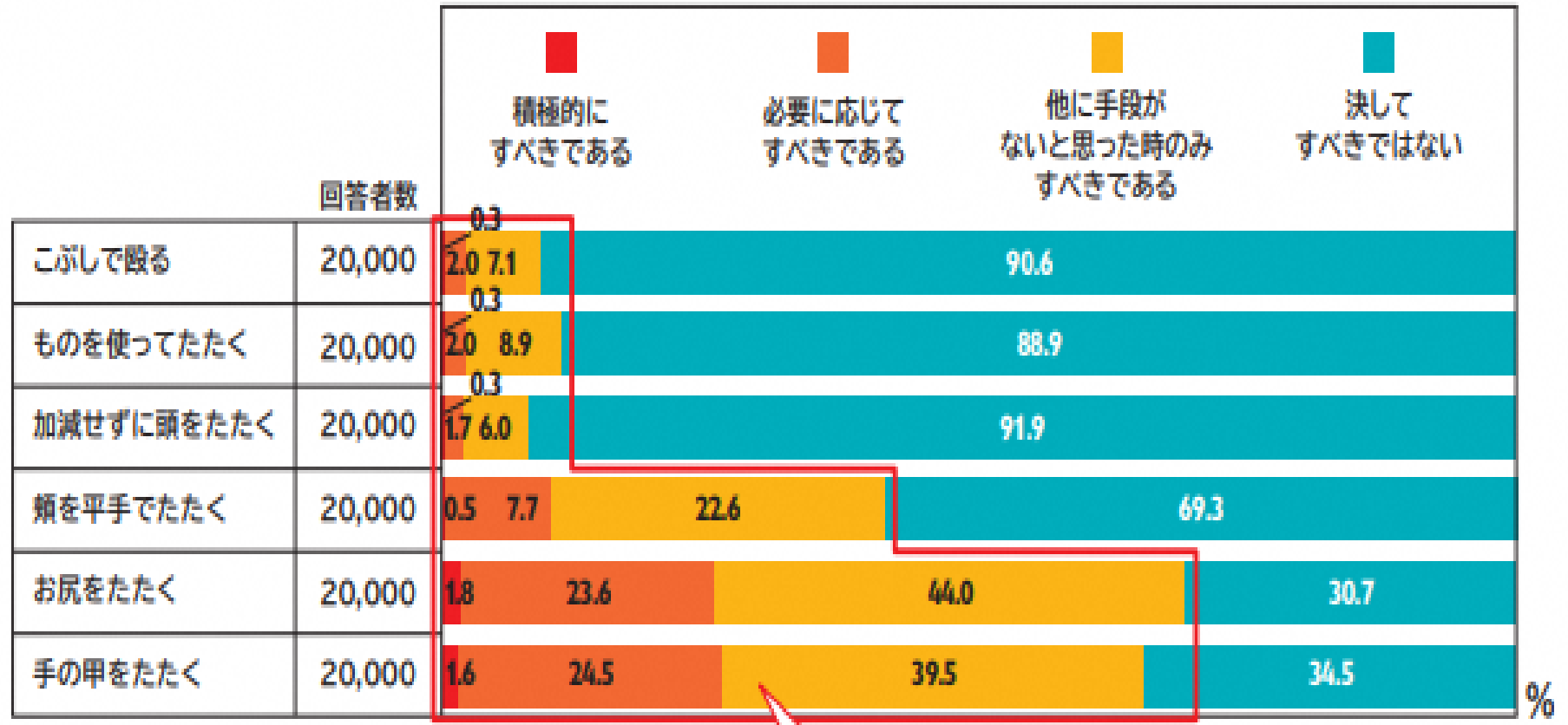


国際NGOセーフ・ザ・チルドレン 報告書「子どもの体やこころを傷つける罰のない社会を目指して」発表
国内2万人のしつけにおける体罰等に関する意識・実態調査結果より引用

%

グラフ 3

しつけのために、子どもを次のように「たたく」行為について、どのように考えますか。



「たたく」行為の内容によって、容認する回答者の割合が異なる。 **Point**

国際NGOセーフ・ザ・チルドレン 報告書「子どもの体やこころを傷つける罰のない社会を目指して」発表
国内2万人のしつけにおける体罰等に関する意識・実態調査結果より引用

マルチトリートメントという言葉
聞いたことがありますか？

マルトリートメント (マルトリ)

虐待とは言い切れない大人から
子どもに対する避けたいかわり

身体的虐待
心理的虐待
ネグレクト
性的虐待

- ・ 全成人の4分の1が小児時代に身体的虐待を受けたと報告
- ・ 女性の5人に1人
男性の13人に1人が小児期に性的虐待を受けたと報告
- ・ 生涯にわたり個人の身体・精神の健康を損なう

WHO世界保健機構で定義 2016

マルトリートメント（マリトリ）

虐待とは言い切れない 大人から子どもに対する避けたいかかわり
(強者) (弱者)

具体例

- ・子どもの前で喧嘩をする（面前DV）相手の悪口を言う
- ・子どもの話を聞かない・話を遮り大人だけが話をする
「うるさいから静かにして」「今、忙しいからあっち行って」
- ・気分しだいで怒鳴りつける
- ・食べ終わるまで食事を続けさせる
- ・約束を守れなかった罰として食事を抜く
- ・わかるまでと長時間叱り続ける
- ・初めからやれないと決めつけチャレンジをさせない 等々

大人の側に加害の意図があるかないかに関わらずまた、子どもに目立った傷や精神疾患が見られなくても 行為そのものが不適切であればそれはマルトリートメントにあたる

**育児・家事の
負担感**

心身の疲労

**育児への不満
不全感 疲弊**

親の問題とリスク

**子どもが自分の
期待に応じ
られないと
攻撃的になる**



**社会からの
孤立感**

**脅迫的に
完璧すぎる親**

**体罰肯定
自分も叩かれ
て育ってきた**

**親自身の
被虐待歴**

**性格的障害・
精神疾患**

生活上のストレス

経済的な不安定
借金・貧困

借金・貧困

夫婦の不和

夫の育児への
無関心

無関心

地域・親族・友人
からの孤立

孤立

(コロナ禍での虐待増加の要因にも・・・)



計画外の
望まない子

望まない子

育てにくい子

育てにくい子

子どもの要因

障害がある

障害がある

きょうだいが
多い

多い

自己肯定感が持てない
自己否定・自分を大切にできない

安心できない

発育・発達の
遅れ
集中力低下

落ち着かない

子どもへの影響

衝動性



信頼関係の構築が
できない
人を信じられない

多動
反抗する

育てにくい
手がかかる
(体重増加不良・
離乳食が進まない)

傷ついた子どもは

禁止や否定の言葉に
反応してパニックが生じる

集団の中で虐待
関係の再現をする

他者が嫌だと感じることに
敏感に反応する
他者の怒りへの過敏性

悪意のない所に
悪意を読み取りがち

真顔を怒りと
誤認識する傾向



昨日と同じ当たり前の
安全な日常の繰り返しの
経験がない

家では安心安全を
感じる事が出来ない

信頼できる大人の
存在を知らない

今、保育現場で何か起こっているのか

* 社会的養護の立場から親の養育負担軽減が必須
虐待を防ぐため、園に白羽の矢が向けられる
「先生お願いしますと」子ども達を託される

* 養育に配慮がいる子ども達が増加

- ・食べない子
- ・寝ない子
- ・集団に入れられない子・走り回る子
- ・すぐ怒って暴れる子
- ・泣き続ける子
- ・言っても言っても同じことをする子
- ・他害をする子

十 保護者からの要望・クレーム



園の役割は大きく・とても重要！とは言っても対応は大変！

子どもにとっては・・・

虐待を受けた子どもにとって命を守ってもらえ、予防してもらえる場所

親に出せない「怒り」は安全な場所で爆発する

身体の傷は治るかもしれないが心の傷は一生背負う

ことになることもあるため信頼できる大人との出会いは大事



親は・・・

虐待してしまう親は援助の手を遠ざけ、攻撃してくる形で
SOSを出している

保育士は・・・

こんなに援助しようとしているのに何でそんな態度をとるの？？

もう知りませんという気持ちに

ひとりで抱えない、チームで役割分担をして対応する

なぜ、保育現場でマルトリが起こってしまうのか？？？

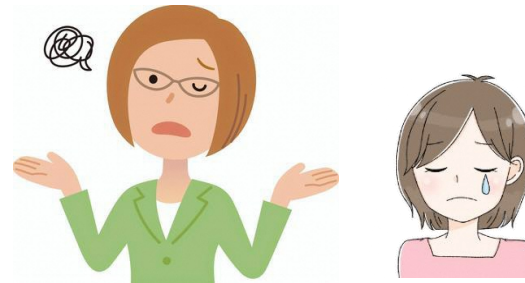
保育士のストレス

保育の仕事は日々子ども達の成長を願い寄り添ったり、励ましたり、ほめたり 大変だけどやりがいのある仕事

でも一番難しいのは職場の人間関係？

プロだからこそ意識を持って・・・その子のために時には厳しい対応も必要なのでは・・・

三つ子の魂100までも
しっかりと教えてあげないと



その場で注意し教えないと後では忘れてしまいます

保育現場でマルトリートメントが起こるとき・・・

保育現場でマルトリが起こる時、突然起こるわけではない

子どもがいつも怒られることをする・わざとしているように感じる
言うことを聞かない・泣きやまない・嫌がって食べない・寝ない・・・等々

対応する保育士は

子どもへの言葉が乱暴になってしまう ・ わからせようと怒り続けてしまう
子どもの身体に触れる時反抗されたり、拒否されるとつい力が入って
引き寄せてしまう

周りの先生たちも「子ども大丈夫かな？」と思うけど言えない
反対に「あなたのかかわりは甘すぎる」と言われるかも・・・



日々の業務が多く時間に追われている・相談する時間がない
待遇の問題・人手がたりない・保育の様子などビデオで撮られている環境もある
体調が悪い・疲労・家に帰っても家事や育児が待っている・余裕がない・・・等々

**ストレスフルな状態に陥れば人ごとではないマルトリートメント
(不適切なかかわり) は誰にでも起こりうるのです**

子どもとの信頼関係を築くかかわり方とは・・・
保育士が一人で抱えないための職員同士のかかわり方
とは・・・

子どもにも・大人同士にも大切な
コミュニケーションをどのように育んでいけるのか

簡単に誰でもできるCCAP版親と子の関係を育む
ペアレンティングプログラム®よりコミュニケーションを
育むかかわり方を紹介します

最近の脳科学によってわかってきたこと

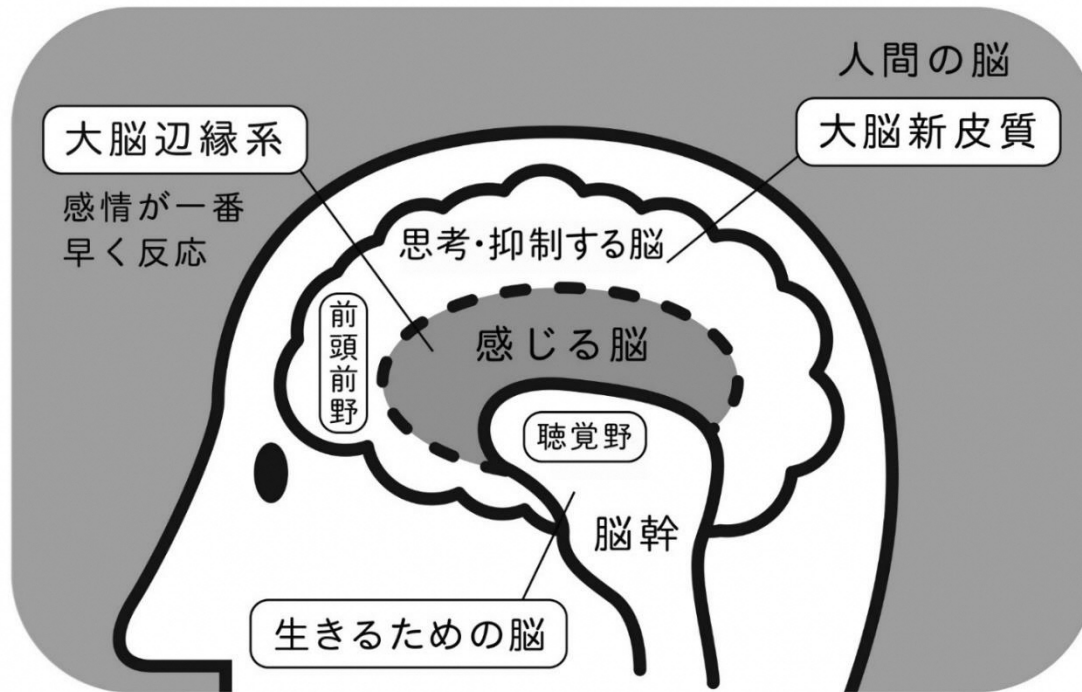
子どもの脳はゆっくり育つ・イヤイヤ期は脳の影響で起こっている

☆ 感じる脳(大脳辺縁系)

快、不快、怖い、好き嫌いなど
幼児期には活発に反応する

☆ 思考・抑制する脳(前頭前野など)

イヤイヤ行動は脳の影響
子どもの脳はゆっくり育つ



感じる脳（大脳辺縁系）が優位になり、思考・抑制の働きをする前頭前野を抑制してしまう・・・

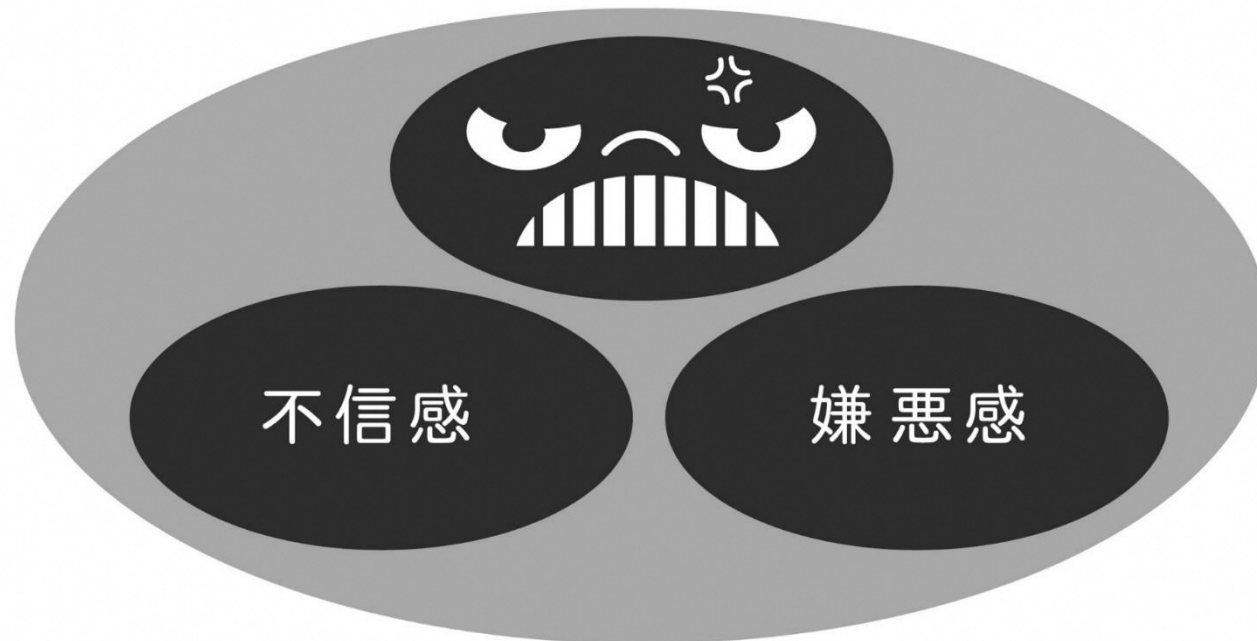
これまでの私たちの子育て文化の中では駄目は
ダメ！と教える文化があります

時には子どもためにも怒鳴ってでも叩いてでも
教えねば・・・とってしまう

怒鳴ってでも叩いてでも、教えなくてはと
この2つが同時に伝えられると

感じる脳が優位になり、思考する脳が抑制されて
しまいます

教えようとして怒鳴ったり、叩いたりすると……
伝えたいことは伝わらず伝わるのは……

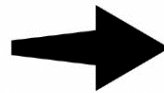


子どもには怒られた記憶しか残らず、伝えたいことは伝わらない

効果的なのは肯定的なことばかり

認められるとドーパミンが放出され認められた行動は繰り返される

して欲しい行動をしている時
普通・当たり前と思わずに
気づく・見つけて認めると
その行動が強化される!

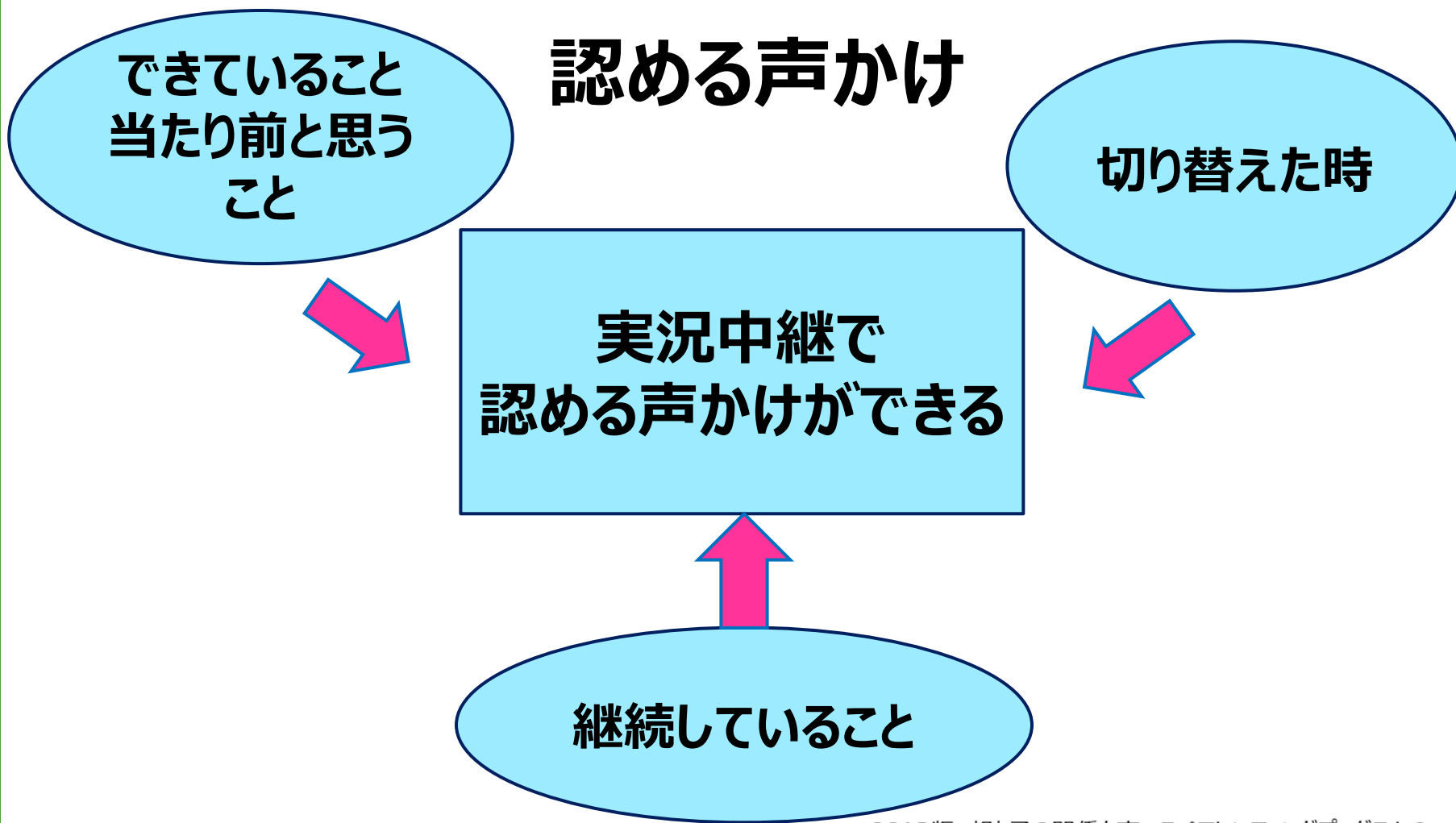


して欲しくない行動は
強化しない



それは「実況中継」で伝えること

コミュニケーションを育む「実況中継」



実況中継とは・・・

子どもの行動を見たままをそのまま伝えること



- ☆ 何も引かない、何も足さない伝え方
- ☆ 安全な伝え方（主観が入らない）
- ☆ 誰もが簡単にできる伝え方

実況中継の効果とは・・・

子どもに親が見ている事を伝えることができます

子どもは気づいてくれたり、認めてもらおうと嬉しく感じて、その行動を繰り返そうとします



**保育士と子どものコミュニケーション
がよくなり、良好な関係を育みます**

親にとっても・・・

子どもへ向かう感情的なことばや態度



このままではいけない・変えたい



感情的になってしまう場面で
それに代わる方法として**見たままをつたえる**
「実況中継」をする
(何か新しい手法を覚えることはない)

困った時こそ
「共感」から入り
して欲しいことを伝える



切りかわったら「実況中継」

共感から入ると子どもに聞く耳ができ
次のことばが入りやすくなる

いつも 今にチャレンジ！いつでも 今ここからです



ご視聴ありがとうございました